



## 主張

### 教職員の資質向上

～新しい時代を拓く、  
教職員の「専門知」と「協働力」～

須内 康雄

私たちは今、社会の急激な変化に直面しています。GIGAスクール構想の進展や、AI技術の発展は、子供たちが未来で活躍するために必要な資質・能力を根本から問い直すことを迫っています。この変化の時代において、学校教育の最前線に立つ教職員には、従来の知識伝達者に留まらない、より高度で複合的な専門性が求められています。

特に求められる資質は次の二点に集約されと考えます。

○個別最適化な学びをデザインする力…全ての子供たちがもつ可能性を最大限に引き出すため、教育データの活用や心理学的なアプローチに基づき、一人一人に合わせた学習プロセスを設計・実施する能力

○変化を乗り越えるリフレクション（省察）能力…現在の教育活動を客観的に見つめ直し、絶えず自己の専門性を更新していくための探究心と学び続ける意欲。

教職員の資質向上は、個人の努力だけでは実現しません。今、働き方改革が喫緊の課題となる中、「チーム学校」を基盤とした組織的な取組こそが、持続可能で質の高い教育を実現する鍵となります。近年の動向として重要なのは、教職員研修を「受動的なもの」か



ら「自律的・能動的なもの」へと転換することです。以下、「チーム学校」の視点から二点考えます。

○校内研修の質の向上・教員同士が互いの実践を語り合い、専門的な議論を深める「学習する組織」の構築が必要です。成功事例や課題を共有し、多様な視点を取り込むことで、学校全体として専門性を引き上げます。

○多職種連携の強化・SCやSSWなど、専門的な知識をもつ外部人材との有機的な連携を通じて、教職員が「教育のプロ」としての役割に集中できる環境を整え、子供たちの複雑な課題に対応する総合力を高めます。

私たち校長は、教職員の資質向上を学校経営の最重要課題として位置付け、推進する責務があります。教職員が「学びたい」と心から思えるよう、心理的安全性が確保された職場環境を整備し、研修参加や新しい挑戦に対する時間的な余裕と経済的支援を保障することが私たちの第一の使命です。

新しい時代を担う教職員の情熱と才能を信じ、その成長を力強く後押しすることで、子供の未来を輝かせる「令和の日本型学校教育」は実現すると確信します。

私は国語科教員なのですが、県教委事務局で勤務した折に、不出来な私に当時の上司が「あなたが、高知の『大村はま』にな리なさい。」と言って励ましてくださったことが忘れられません。我々教職員に、学びたいと思う内的動機の高まりが生まれるのは、こうした期待や励まし、価値付けをする上司からの言動ではないでしょうか。教職員の成長を促し、日本の未来を拓くため、共に学び続けて参りましょう。

（全日中副会長・高知県越知町立越知中学校長）